

3.特許調査

この章は、第1部の第1章～第6章までの知識を前提として解説を行っている。

第2章で述べたように、発明をした場合、まず発明者自身が、自分の発明について既に特許が取得されていないか、特許出願がされていないかを調べる(特許調査)が好ましい。この章では、特許調査の意義について解説した後、特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を使った特許調査の方法について説明を行う。

3.1. 調査の意義

3.1.1 先行技術の調査

特許を受けるためには、新規性、進歩性のある発明でなければならない。したがって、発明が先行技術とよく似ている場合は、出願しても特許を受けられないことになる。そこで、ムダな出願をなくすため、出願に先立って従来技術の調査をする。

先行技術の調査を完全に行うなら、あらゆる文献、あらゆる製品、あらゆる展示会などを調べる必要がある。しかし、市場での製品や展示会の発表内容を調査するのは困難である。そこで、一般的には、文献に絞って調査を行うことが多い。さらに、文献の中でも、調査のためのデータベースが整っている特許公報だけに絞って調査をしているのが実情である。

3.1.2 他社の特許の調査

特許法では、事業として新たな製品やサービスを開発、製造、販売、実施しようとするときは、その事業者が、新たな製品・サービスについて他人の特許を侵害していないか否かを調べる義務をもっている。たとえ独自に開発したとしても、それが結果的に他人の特許と同じものであれば、やはり、過失があったものとして特許権侵害となる。知らなかったでは、済まされないのである。特許権侵害になると、販売停止、サービス停止、製品回収、そして損害賠償の責任が生じ、投資した開発費を回収するどころか、大きな損害を被ることになる。

したがって、製品開発や新規事業を行う前には、これから開発をしようとしている分野にどのような特許が存在し、誰が権利を持っているのかを調査しておく必要がある。調査をすることで、どうすれば他人の権利を侵害しない技術やサービスを開発できるかが分かる。すなわち、開発の方向を明確にできる。

3.2. 特許調査のためのデータベース

特許庁は、ウェブ上で特許情報プラットフォーム (<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>) を公開している。誰でも無料で利用できる。特許されたものだけでなく、過去に出願されたものも収録されている。企業によっては、商用のデータベース¹の利用契約をしており、開発者・技術者も使用可能としている場合もある。

本書では、インターネットに接続できれば誰でも使用可能な特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を用いて特許調査の方法を解説する。

3.3. 特許調査の実際

特許調査は、i)論理式の決定、ii)検索実行、iii)公報内容の確認と抽出、iv)公報の評価の順で行う。以下、順に説明する。

3.3.1 論理式を決定する

検索のための論理式を考える。発明の内容を示すキーワードを用いて論理式を作成する。ここでは、

*1 ㈱パトリスの提供する PATOLIS、野村総研㈱の提供する NRI サイバーパテントなど

まず、キーワードの作成を行う。キーワードを考える際には、「技術分野」「構成」「効果」などに分けて整理すると良い。たとえば、発明届出書作成の例で示したかな漢字変換ソフトウェアであれば、次のようにキーワードがまとめられる。

表3-1 テーブル

	分野	構成	構成	構成	構成	効果	効果
発明							
キーワード							

次に、上記テーブルの発明の欄を埋める。まず、発明の分野を記載する。ここでは、「かな漢字変換」ということになる。続いて、発明の構成をいくつかに分けて記載する。上記の例では、「辞書に使用回数を記録しておき、使用回数の順に漢字候補を表示する」という構成であるから、下表のように記載する。

表3-2 テーブル

	分野	構成	構成	構成	構成	効果	効果
発明	かな漢字変換	辞書	使用回数順	漢字候補	表示		
キーワード							

次に、「かな漢字変換」「辞書」「使用頻度順」「漢字候補」「表示」という5つの用語に基づいて、検索のためのキーワードを決定する。この際、同じような意味の言葉をあげるようにする。つまり、第1欄では、類義語として「ワープロ」という言葉を記載している。第2欄、第3欄も同様である。

表3-3 テーブル

	分野	構成	構成	構成	構成	効果	効果
発明	かな漢字変換	辞書	使用回数順	漢字候補	表示		
キーワード	ワープロ		使用頻度順	変換候補	出力		

次に、この発明の効果をテーブルに記載する。この発明は変換の効率化を図るものであるから「変換効率」を記入する。この例では、効果として一つだけ取り上げたが、他にもあれば複数記入する。

表3-4 テーブル

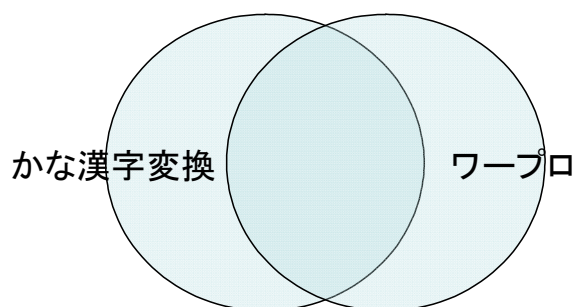
	分野	構成	構成	構成	構成	効果	効果
発明	かな漢字変換	辞書	使用回数順	漢字候補	表示	変換効率	
キーワード	ワープロ		使用頻度順	変換候補	出力	効率化	

次に、「変換効率」という用語に基づいて、検索のためのキーワードを決定する。この際、同じような意味の言葉をあげるようにする。つまり、第7欄では、類義語として「効率化」という言葉を記載している。

上記のテーブルに基づいて、キーワードを組み合わせて検索式を作成する。縦方向はOR(+)、横方向はAND(*)とする。たとえば、第1欄、第2欄、第3欄のキーワードを組み合わせた場合には、次のような検索式が完成する。

(かな漢字変換+ワープロ) * (辞書) * (使用回数順+使用頻度順)

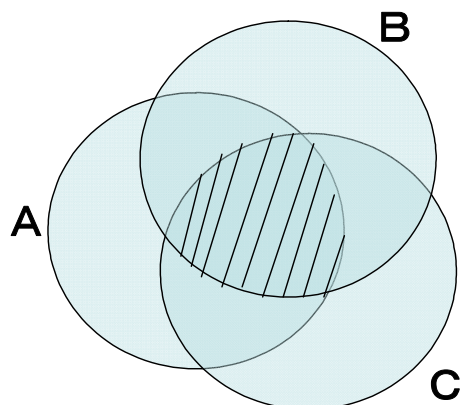
図 3-1 論理式の意味



まず、(かな漢字変換+ワープロ)の部分は、「かな漢字変換」または「ワープロ」という文言を含む特許または特許出願を抽出することを意味している。つまり、上図の色の付いた部分全体を示している。(辞書)や(使用回数順+使用頻度順)についても同様である。

(かな漢字変換+ワープロ)をAとし、(辞書)をBとし、(使用回数順+使用頻度順)をCとすれば、(かな漢字変換+ワープロ) * (辞書) * (使用回数順+使用頻度順)は、A、B、Cの論理和(AND)として、下図の斜線部分として示される。

図 3-2 論理式の意味



検索式を見れば明らかであるが、同じ意味を有するキーワードを多数用いて論理和(OR)をとっておくことが検索漏れを少なくするために必要である。

作成したテーブルを参照して、キーワードを組み合わせることで、多くの検索式を作ることができる。特許調査において、一つの検索式だけで完全な検索をすることは難しい。類義語を沢山盛り込んで慎重に検索式を選択しても、検索漏れを生じる可能性がある。

そこで、複数の検索式を作成し、これらの結果を統合して判断することが好ましい。各検索式によってヒットする公開公報の数は数件～十数件程度とし、複数の検索式の結果を統合して百件程度を目安とすればよいであろう。

なお、特許電子図書館では、複数の検索式の結果の論理和(OR)をとる機能が用意されていない。したがって、一つずつの検索式の結果を確認して記録をとりながら調査を行う必要がある。

3.3.2特許情報プラットフォームを使って検索をする

検索の大きな流れは以下のとおりである。キーワードに基づいて作成した検索式によって検索する。検索の結果ヒットした公報の内容を検討する。他のキーワードについても同様に検索する。これを繰り返

す。以下この手順に沿って説明する。

まず、J-PlatPat に接続し、トップページを開く。

図 3-3



特許実用新案メニューの中から、「3. 特許・実用新案テキスト検索」を選択してクリックする(上図の赤丸部分参照)。これにより、下図のような「公報テキスト検索」の検索画面が表示される。公報種別について、「公開特許公報」「特許公報」「和文抄録」「公開実用新案公報」「実用新案公報」のラジオボタンにチェックを入れる。

図 3-4

ヘルプデスク (9:00-21:00)
03-6666-8801
helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp

English トップページ ヘルプ一覧 サイトマップ JPO INPIT

独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

特許・実用新案 意匠 商標 審判 経過情報

トップページ > 特許・実用新案 > 特許・実用新案テキスト検索

特許・実用新案テキスト検索 ヘルプ 入力画面 → 結果一覧 → 詳細表示

書誌的事項・要約・請求の範囲のキーワード、分類(FI・Fターム、IPC)等から、特許・実用新案の公報を検索できます。

公報発行、更新予定については、[ニュース](#)をご覧ください。

種別

特許公報 (特開・特表(A)、再公表(A1)) 特許公報 (特公・特許(B)) 米国特許和文抄録
 実用新案公報 (実開・実表・登実(U)、再公表(A1)) 実用新案公報 (実公・実登(Y)) 欧州特許和文抄録
 中国特許和文抄録 中国実用新案機械翻訳和文抄録

J-GLOBAL検索

文献 科学技術用語 化学物質 資料

キーワード

全角の場合は100文字以内、半角の場合は200文字以内で、検索キーワードを入力してください。

検索項目	検索キーワード	検索方式
要約 + 請求の範囲 <input checked="" type="checkbox"/> 含む	例) 特許庁	OR
AND		
公報全文(書誌を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 含む	例) 特許庁	OR

検索項目のプルダウンメニューから「公報全文(書誌を除く)」を選択する。続いて、「追加」ボタンをクリックする(たとえば、3回クリックする)。これにより、検索のための入力欄が3つ追加される。各入力欄の検索項目を「公報全文(書誌を除く)」にする。これにより、図3-5に示すような画面となる。

図 3-5

公報発行、更新予定については、[☑ ニュース](#)をご覧ください。

種別

- | | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 公開特許公報 (特開・特表(A)、再公表(A1)) | <input checked="" type="checkbox"/> 特許公報 (特公・特許(B)) | <input type="checkbox"/> 米国特許和文抄録 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 公開実用新案公報 (実開・実表・実登(U)、再公表(A1)) | <input checked="" type="checkbox"/> 実用新案公報 (実公・実登(Y)) | <input type="checkbox"/> 欧州特許和文抄録 |
| <input type="checkbox"/> 中国特許和文抄録 | <input type="checkbox"/> 中国実用新案機械翻訳和文抄録 | |

J-GLOBAL検索

- 文献 科学技術用語 化学物質 資料

キーワード

全角の場合は100文字以内、半角の場合は200文字以内で、検索キーワードを入力してください。

検索項目		検索キーワード	検索方式
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼

[- 削除](#) [+ 追加](#)

[🔍 キーワードで検索](#)

次に、作成した検索式のキーワードを入力する。たとえば、(かな漢字変換+ワープロ)*(辞書)を入力するとする。入力ボックス内では、スペースを空けてキーワードを入力する。つまり、かな漢字変換とワープロとの間にスペースを空ける。これにより、(かな漢字変換+ワープロ)が設定される。他の段についても、同様にして、(辞書)を検索式として設定する。

各段の間は、AND条件が課されるようになっている。したがって、(かな漢字変換+ワープロ)*(辞書)を設定することができる。

図 3-6

公報発行、更新予定については、[ニュース](#)をご覧ください。

種別

- | | | |
|--|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 公開特許公報 (特開・特表(A)、再公表(A1)) | <input checked="" type="checkbox"/> 特許公報 (特公・特許(B)) | <input type="checkbox"/> 米国特許和文抄録 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 公開実用新案公報 (実開・実表・実登(U)、再公表(A1)) | <input checked="" type="checkbox"/> 実用新案公報 (実公・実登(Y)) | <input type="checkbox"/> 欧州特許和文抄録 |
| <input type="checkbox"/> 中国特許和文抄録 | <input type="checkbox"/> 中国実用新案機械翻訳和文抄録 | |

J-GLOBAL検索

- 文献 科学技術用語 化学物質 資料

キーワード

全角の場合は100文字以内、半角の場合は200文字以内で、検索キーワードを入力してください。

検索項目		検索キーワード	検索方式
<input type="text" value="公報全文(書誌を除く)"/>	<input type="text" value="含む"/>	<input type="text" value="かな漢字変換 ワープロ"/>	<input type="text" value="OR"/>
AND			
<input type="text" value="公報全文(書誌を除く)"/>	<input type="text" value="含む"/>	<input type="text" value="辞書"/>	<input type="text" value="OR"/>
AND			
<input type="text" value="公報全文(書誌を除く)"/>	<input type="text" value="含む"/>	<input type="text" value="例) 特許庁"/>	<input type="text" value="OR"/>
AND			
<input type="text" value="公報全文(書誌を除く)"/>	<input type="text" value="含む"/>	<input type="text" value="例) 特許庁"/>	<input type="text" value="OR"/>
AND			
<input type="text" value="公報全文(書誌を除く)"/>	<input type="text" value="含む"/>	<input type="text" value="例) 特許庁"/>	<input type="text" value="OR"/>

このように検索式を設定した状態で、「キーワードで検索」ボタン(上図の赤丸部分参照)をクリックする。しばらくすると、ヒット件数が表示される。下図では、4916件と示されている。公報の内容をチェックするという作業を考えると、4916件の全部をチェックすることは現実的でない。

図 3-7

キーワード

全角の場合は100文字以内、半角の場合は200文字以内で、検索キーワードを入力してください。

検索項目		検索キーワード	検索方式
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	かな漢字変換 ワープロ	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	辞書	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼

- 削除 + 追加

🔍 キーワードで検索

論理式

「論理式に展開」ボタンにより、検索キーワードを、論理式に展開できます。
(全角750文字以内、半角1500文字以内)

🔍 論理式に展開

例) コンピュータ/AP*20120101~/GID-製造方法/OL

🔍 論理式で検索

ヒット件数 **4916件**

できれば、5件から10件程度に絞り込みたい。そこで、用意していた他のキーワードをAND条件で付加し、絞り込みを行う。ここでは、下記のように入力して、(かな漢字変換+ワープロ)*(辞書)*(使用回数順+使用頻度順)*(漢字候補)にて検索を行った。その結果、ヒット件数は6件であった。

図 3-8

検索項目	検索キーワード	検索方式	
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	かな漢字変換 ワープロ	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	辞書	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	使用回数順 使用頻度順	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	漢字候補	OR ▼
AND			
公報全文(書誌を除く) ▼	含む ▼	例) 特許庁	OR ▼

- 削除 + 追加

キーワードで検索

論理式

「論理式に展開」ボタンにより、検索キーワードを、論理式に展開できます。
(全角750文字以内、半角1500文字以内)

論理式に展開

例) コンピュータ/AP*20120101:/GID-製造方法/OL

論理式で検索

ヒット件数 **6件** **一覧表示**

複数の検索式を作成して検索を行うことを前提とすれば、各検索式におけるヒット件数は、数件から十数件が適切であろう。ここでは、ヒット件数が6件なので、これらヒットした公報の内容を確認する。上記画面において「一覧表示」をクリックする。これにより、下図に示すように、検索された公報の一覧が表示される。

図 3-9

検索結果 6件

項番	文献番号	発明の名称	筆頭出願人 (登録公報・US和抄は権利者を表示)	発行日	出願番号	出願日	筆頭IPC
1	特開2000-200267	入力文字変換装置およびそのプログラム記録媒体	カシオ計算機株式会社	2000年07月18日	特願平10-376958	1998年12月28日	G06F 17/22
2	特開平11-219351	文書データ処理装置およびそのプログラム記録媒体	カシオ計算機株式会社	1999年08月10日	特願平10-034102	1998年01月30日	G06F 17/21
3	特開平08-083274	文字処理装置およびその漢字変換方法	キヤノン株式会社	1996年03月26日	特願平06-217219	1994年09月12日	G06F 17/22
4	特開平06-231125	音声変換システム	株式会社東芝	1994年08月19日	特願平05-012990	1993年01月29日	G06F 15/20 564
5	特開平06-231124	音声変換システム	株式会社東芝	1994年08月19日	特願平05-012989	1993年01月29日	G06F 15/20 564
6	特許3281192	文字処理装置およびその漢字変換方法	キヤノン株式会社	2002年05月13日	特願平06-217219	1994年09月12日	G06F 17/22 526

3.3.3 公報の内容の確認と抽出

一覧表示の一番上に表示されている公開公報の番号をクリックする(上図の赤丸参照)。これにより、下図のように、その公開公報の出願日、出願番号、発明の名称などが表示される。「書誌+要約+請求の範囲」の欄のスライダーを移動し、要約を表示する。

図 3-10



ツールバーを移動して表示された要約の部分だけを下図に示す。

図 3-11

(57) 【要約】

【課題】 入力文字を変換して所望の候補を得るまでに手間がかかった場合には、その候補をユーザ固有の難字として登録しておくことで、以降の文字変換時にその登録内容を活用する。

【解決手段】 タッチパネル付き表示装置 5 から手書き文字が入力された際に、手書き文字認識辞書 2-1 を参照することにより CPU 1 は手書き文字を文字認識して認識候補群を得る。この場合、この候補群の中から任意の候補が選択確定された際に、この選択候補が第 5 候補以下であれば、その候補をユーザ固有の難字として判定し、難字管理テーブル 2-3 に登録する。

次に、この要約を見て、自分の発明に近いかどうかを判断する。余り関係ないようであれば、画面下にある「次文献」をクリックする。これにより、次の公開公報の要約が表示される。

図 3-12

場合にその選択候補をユーザ固有の難字と判定する判定手段と、この判定手段によって判定された難字をユーザメモリに登録する登録手段とを具備したことを特徴とする入力文字変換装置。

【請求項2】前記文字変換手段は手書き入力画面上に筆記された筆記情報に基づいて文字認識を行って文字コードに変換する文字認識手段であり、その認識度合に応じた候補順位の変換候補群を得るようにしたことを特徴とする請求項1記載の入力文字変換装置。

【請求項3】前記文字認識された候補が難字として登録された場合に、前記登録手段はその難字に対応付けてその筆記情報をユーザメモリに登録しておき、以降、手書き入力された当該筆記情報に対応する難字を優先的に認識候補とすることにしたことを特徴とする請求項2記載の入力文字変換装置。

【請求項4】入力文字を変換してその変換候補を得る文字変換手段と、この文字変換手段によって変換された変換候補が選択確定された際に、この選択候補が特殊な分類に属する文字である場合にその選択候補をユーザ固有の難字として判定する判定手段と、この判定手段によって判定された難字をユーザメモリに登録する登録手段とを具備したことを特徴とする入力文字変換装置。

【請求項5】前記文字変換手段によって **かな漢字変換** された際に、前記判定手段は **かな漢字変換** された **漢字候補** が JIS第2水準漢字に含まれる特殊文字である場合にその **漢字候補** をユーザ固有の難字として判定することにしたことを特徴とする請求項4記載の入力文字変換装置。

【請求項6】前記ユーザメモリに登録されている各難字を読み出して一覧表示させる難字表示手段を設け、前記一覧表示画面の中から任意に選択された難字を変換候補とすることにしたことを特徴とする請求項1または4記載の入力文字変換装置。

【請求項7】前記ユーザメモリに記憶されている各難字毎にその使用頻度を求め、その **使用頻度順** に専用テーブル内の各難字の配列状態を並べ替えるソート手段を設けたことを特徴とする請求項1または4記載の入力文字変換装置。

【請求項8】前記前記ユーザメモリに記憶されている各難字毎にその使用日時を求め、使用日時順に専用テーブル内の各難字の配列状態を並べ替えるソート手段を設けたことを特徴とする請求項1または4記載の入力文字変換装置。

【請求項9】コンピュータによって読み取られるプログラムコードを有する記録媒体であって、入力文字を変換してその変換候補群を得る機能と、変換された変換候補群の中から任意の候補が選択確定された際に、この選択候補の候補順位が所定以下の場合にその選択候補をユーザ固有の難字と判定する機能と、判定された難字をユーザメモリに登録する機能を実現するためのプログラムコードを有する記録媒体。

【請求項10】コンピュータによって読み取られるプログラムコードを有する記録媒体であって、入力文字を変換してその変換候補を得る機能と、変換された変換候補が選択確定された際に、この選択候補が特殊な分類に属する文字である場合にその選択候補をユーザ固有の難字として判定する機能と、判定された難字をユーザメモリに登録する機能を実現するためのプログラムコードを有する記録媒体。

このような操作を繰り返し、自分の発明に関係ありそうな内容を記述した要約を見いだしたら、画面上部の「詳細な説明」のリンクをクリックする(下図赤丸参照)。

図 3-13

特許・実用新案テキスト検索

書誌的事項・要約・請求の範囲のキーワード、分類(FI・Fターム、IPC)等から、特許・実用新案の公報を検索できます。

選択された文献

特開平06-231124

項目表示 | イメージ表示 | PDF表示

全項目 (書誌+要約+請求の範囲) (書誌+要約+請求の範囲+実施例)

書誌 要約 請求の範囲 **詳細な説明** 用分野 従来技術 発明の効果 課題 手段 作用 実施例 図の説明 図面

ハイライトされている文字列 多色 単色

かな漢字変換 フォーブ 辞書 使用回数順 使用頻度順

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)

(12)【公報種別】公開特許公報(A)

(11)【公開番号】特開平6-231124

(43)【公開日】平成6年(1994)8月19日

(54)【発明の名称】音声変換システム

(51)【国際特許分類第5版】

G06F 15/20	564 E 7315-SL
	501 7343-SL
	568 Z 7315-SL
3/16	340 C 7165-SB
G10L 3/00	L 8946-SH

【審査請求】未請求

12

これにより、次の図に示すように明細書の内容が表示される。明細書を読み、自分の発明に近いものかどうかを判断する。要約を見た時点では関係がありそうでも、明細書の内容を見るとそれほど関係がない場合もある。

明細書を見て、自分の発明に近いと思ったら、画面上部に表示されている公開公報の番号をメモに控える(コピーしてワープロなどに貼り付ける)。公開公報の番号は、特開2004-382679、特開平4-327485、特開昭62-293875などと表示されている。

上記が終わると、画面下にある「次文献」をクリックして、次の公報について検討する。これを、検索された全ての公報について行う。数件程度の関連公報を抽出することが好ましい。

特許・実用新案テキスト検索 [← 前画面へ戻る](#) [? ヘルプ](#) [入力画面](#) [結果一覧](#) [詳細表示](#)

書誌的事項・要約・請求の範囲のキーワード、分類(FI・Fターム、IPC)等から、特許・実用新案の公報を検索できます。

選択された文献 [前の文献](#) 5/6 [次の文献](#)

特開平06-231124 [文献単位PDF表示](#) [経過情報](#) [審査書類情報](#)

項目表示 [イメージ表示](#) [PDF表示](#)

全項目 (書誌+要約+請求の範囲) (書誌+要約+請求の範囲+実施例)
[書誌](#) [要約](#) [請求の範囲](#) [詳細な説明](#) [利用分野](#) [従来技術](#) [発明の効果](#) [課題](#) [手段](#) [作用](#) [実施例](#) [図の説明](#)
[図面](#)

ハイライトされている文字列 多色 単色

[かな漢字変換](#) [ワープロ](#) [辞書](#) [使用回数順](#) [使用頻度順](#) ...

詳細な説明

【発明の詳細な説明】
 【0001】
 【産業上の利用分野】本発明は、文書作成時に文字を音声に変換して音声の文書を作成する音声変換システムに関する。
 【0002】
 【従来の技術】近年、OA機器の発達に伴って、平仮名を漢字に変換して文書を作成する、いわゆるワープロなどの使用人口が急激な増加傾向にあり、種々の用途のワープロが開発されている。例えば、業務用ワープロ、個人用のパーソナルワープロ、パソコンに搭載されるワープロソフトなどである。
 【0003】このような用途別ワープロとして、音声技術を利用した、いわゆる音声ワープロが開発され始めており、ワープロで作成した文書を音声合成技術などを利用して読み上げるシステムが開発されている。
 【0004】
 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記したシステムは、ただ単にワープロで作成した文書を音声合成して読み上げるシステムであるため、ディスプレイを見ながら文章を作成するので、視力の低下や目の疲れを訴える人が多くなってきており、また、ディスプレイを見ないで文章を作成したり、あるいは目の不自由な人はワープロによる文書作成が困難であるなどの問題があった。

このようにして、(かな漢字変換+ワープロ) * (辞書) * (使用回数順+使用頻度順) * (漢字候補)という検索式を用いて検索が終了する。次に、キーワードを用いて他の検索式を生成し、上記と同じことを繰り返す。

3.3.4 公開公報の評価

3.1. 調査の意義のところ述べてきたように、調査には、自分の発明についての特許取得可能性を判断するという目的と、他人の特許権を侵害することを未然に防ぐという目的がある。したがって、抽出した公開公報の評価を上記2つの観点から行う。

①特許取得可能性の判断

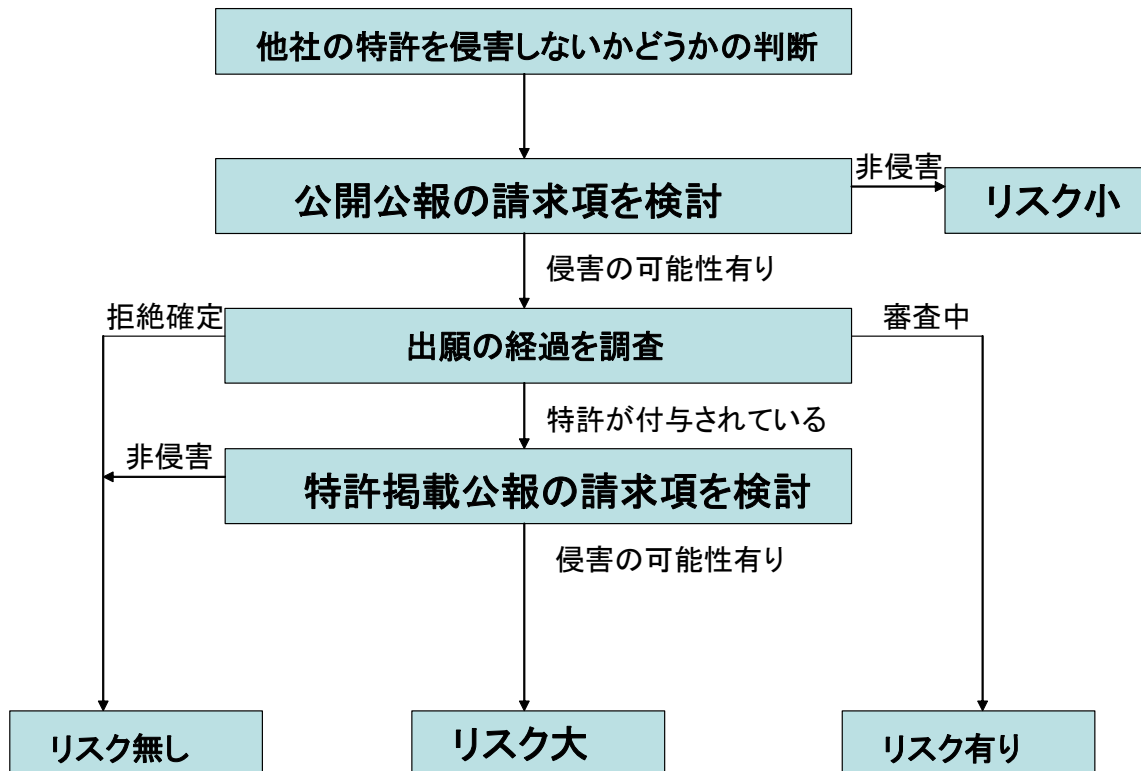
上記のようにして抽出した公報について、その記載内容を精査し、自分の発明との違いを検討する。第1部の4.3. 4.4. にて解説したように、従来技術に対して新規性・進歩性のある発明でなければ特許を取得することはできない。したがって、自分の発明と同一の内容が抽出した公報に記載されていれば、新規性が無く特許を取得することはできない。また、自分の発明と同一ではないが類似する内容が抽出した公報に記載されていれば、進歩性が無く特許を取得することはできない。

特許取得可能性の判断をする際には、抽出した公報の全体を読むことが必要である。公報の特許請求の範囲(請求項)だけを読んで、自分の発明とは違っていると判断するのは危険である。特許請求の範囲には記載されていなくとも、明細書(発明の詳細な説明)の中に記載されている場合もある。

②他人の特許権を侵害することを未然に防ぐ

自分の発明が、製品化されて発売される予定であれば、他人の特許権を侵害するおそれについて考慮しておかなければならない。第1部の「5.2.3 独自開発の抗弁」で述べたように、独自開発であるからといって特許権侵害を免れないからである。下図に、他社特許を侵害する可能性が無いかどうかの判断手順を示す。

図 3-15 評価の手順



この検討を行う際には、まず、抽出した公開公報の特許請求の範囲(請求項)に注目する。第 I 部の「5.5. 効力の及ぶ技術的な範囲」で説明したとおり、自分の発明が請求項の構成要件を全て充足していれば、当該発明の実施は特許権侵害となる。侵害の可能性がなければ、リスクは小さいと判断できる。全くリスクなしと言えないのは、公開公報に記載された内容に修正が加えられて、公開公報に記載の請求項よりも広い範囲の特許が成立するケースもあるからである。実務的には概ね大丈夫であると考えてよいが、明細書の全体を読んで、自分の発明が権利範囲に入るように請求項が修正されるかどうかを判断しておくとうれである。

公開公報の請求項に基づくと、特許権侵害の可能性があると判断した場合には、さらに検討が必要である。調査において抽出した公報は公開公報である。したがって、そのままの内容で特許が付与されるかどうかは定かでない(第1部「8.2. 公開公報発行」参照)。公開公報に記載された請求項を検討した結果、自分の発明の実施が侵害に該当すると思われる場合には、その公開された出願が特許されているのか否か、特許されたのであればどのような請求項で特許されたのか等を調べる必要がある。

下図に示すように、J-PlatPat のトップページから、経過情報検索の「番号照会」を選択する。

図 3-16



「番号照会」をクリックすると、次のような経過情報を問い合わせるための画面が表示される。ここで、経過情報とは、その出願について、審査の経過がどのようになっているかを示す情報である。

図 3-17



上図画面において、四法を「特許」、番号種別を「出願番号」に選択し、照会番号に抽出した公報の出願番号を入力する。次に、「照会」のボタンをクリックする。これにより、下図に示すような結果画面が表示される。

図 3-18



 ヘルプデスク (9:00-21:00)
 03-6666-8801
 helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp

 English トップページ ヘルプ一覧 サイトマップ JPO INPIT
 独立行政法人工業所有権情報・研修館
 National Center for Industrial Property
 Information and Training

特許・実用新案
意匠
商標
審判
経過情報

[トップページ](#) > [経過情報](#) > [番号照会](#)

番号照会 [← 前画面へ戻る](#) [? ヘルプ](#)

[入力画面](#) [→ 結果一覧](#) [→ 詳細表示](#)

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

照会結果一覧

1件中1から1件を表示

項番	出願番号
1	H08-176215

[← 前の一覧](#)
1
[次の一覧 →](#)

[↑ このページのトップへ](#)

この画面から、出願番号(図では、H08-176215)の部分をクリックする。これにより、次の図に示すように、審査の経過情報が表示される。

図 3-19

番号照会 [← 前画面へ戻る](#) [? ヘルプ](#)

[入力画面](#) [→ 結果一覧](#) [→ 詳細表示](#)

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

選択された文献 [← 前の文献](#) 1/1 [次の文献 →](#)

特許出願平08-176215 [📄 審査書類情報](#)

基本項目
出願情報
審判情報
登録情報

出願記事 : 特許 平08-176215 (平8.7.5) 出願種別(通常)
公開記事 : 平10-021262 (平10.1.23)
発明の名称 : 情報検索装置
出願人 : 株式会社日立製作所
発明・考案・創作者 : 郡司 圭子、桂 晃洋、▲葛▼貴 社四郎
公開・公表IPC : 国際分類 第6版
 G06F 17/30
 G06F 17/30
 国際分類 第4版
 G06F 15/415
 G06F 15/40 370 A

出願細目記事 : 査定種別(登録) **査定** 最終処分(特許/登録) 最終処分日(平15.4.18)
審判記事登録記録 : 査定不服審判 2002-24265 請求日(平14.12.18) 審判(判定含む) 前置登録査定 最終処分日(平15.3.13)
登録記事 : 3419205 (平15.4.18)
 株式会社日立製作所

[↑ このページのトップへ](#)

上図の例では、最終処分が「特許/登録」となっている(赤丸部分参照)。したがって、特許された請求項の内容を確認する必要がある。

「登録情報」のタブを選択すると、下図に示すような画面となる。この画面において、登録記事の項目に記載された特許番号(図においては、3419205)をクリックする。

図 3-20

番号照会 ← 前画面へ戻る ? ヘルプ 入力画面 → 結果一覧 → 詳細表示

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

選択された文献 前の文献 1/1 次の文献

特許出願平08-176215 審査書類情報

基本項目 出願情報 審判情報 登録情報

出願記事 : 特許 平08-176215 (平8.7.5)
 登録記事 : 3419205 (平 5.4.18)
 査定日・審決日記事 : 査定日(平15.3.13)
 権利者記事 : 東京都千代田区(000005108) 株式会社日立製作所
 発明等の名称(漢字)記事: 情報検索装置
 請求項の数記事 : 2
 登録細目記事 : 権利者が全て民間、または民間と官庁共有である 本権利は抹消されていない 存続期間満了日(平28.7.5)

登録記録 特許査定書 : (平15.3.18) 作成日(平15.3.20)

その結果、次図のような画面が表示される。

図 3-21

選択された文献 前の文献 1/1 次の文献

特許3419205 文献単位PDF表示 経過情報 審査書類情報

項目表示 イメージ表示 PDF表示

全項目(書誌+要約+請求の範囲)
 書 請求の範囲 細な説明 利用分野 従来の技術 発明の効果 課題 手段 図の説明 図面

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】 日本国特許庁 (JP)
 (12)【公報種別】 特許公報 (B2)
 (11)【特許番号】 特許第3419205号 (P3419205)
 (24)【登録日】 平成15年4月18日 (2003. 4. 18)
 (45)【発行日】 平成15年6月23日 (2003. 6. 23)
 (54)【発明の名称】 情報検索装置
 (51)【国際特許分類第7版】
 G06F 17/30 350
 340
 【F11】
 G06F 17/30 350 C
 340 B
 【請求項の数】 2
 【全頁数】 43
 (21)【出願番号】 特願平8-176215
 (22)【出願日】 平成8年7月5日 (1996. 7. 5)

図 1

この画面において、「請求の範囲」をクリックすると、特許請求の範囲が表示される。

図 3-22

項目表示 イメージ表示 PDF表示

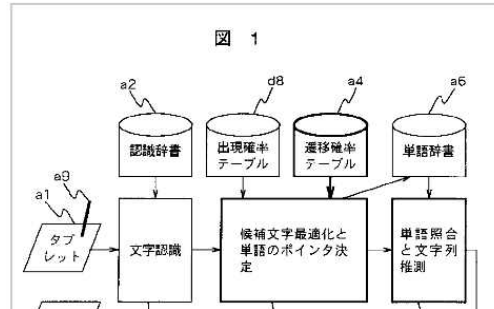
全項目 (書誌+要約+請求の範囲)

書誌 請求の範囲 詳細な説明 利用分野 従来技術 発明の効果 課題 手段 図の説明 図面

請求の範囲

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力された文字列を含む文字群を検索する情報検索装置において、予め複数の文字列群を、それぞれ固有のアドレスに記憶する辞書と、少なくとも、ある文字から他の文字への遷移情報と、前記複数の文字列群のうち前記遷移関係にある文字の組み合わせを含む文字列群のアドレスとをそれぞれ対応付けて記憶した文字遷移確率テーブルを有し、前記入力された文字列に対応する文字列群を前記文字遷移確率テーブルに記載したアドレスにより前記辞書をアクセスし、当該アドレスに対応する前記辞書中の文字列群を検索結果として表示し、入力した文字列の一部を含む文字列群が複数存在したときには、文字列群の文字遷移のうち入力した文字列の文字遷移と一致する文字遷移の数と、文字列群のうち入力した文字と一致する文字の数、文字列群の文字列中で入力した文字を含む位置、文字列群の使用頻度、文字列群の優先度、文字列群の階層、文字列群の50音順、文字列群の文字コード順、文字列群に関する情報との関連の強い順及び検索システムを使用しているユーザの条件（住所、電話番号など）のうち少なくとも1つ以上の条件を用いて文字列群の優先順位を決定する手段を設けたことを特徴とする情報検索装置。【請求項2】 請求項1において、前記文字遷移確率テーブルは、前記辞書に単語が追加されると、文字遷移を含む単語のアドレスを更新して学習することを特徴とする情報検索装置。



表示された特許掲載公報の特許請求の範囲(請求項)を見て、自分の発明が権利範囲に入っているかどうかを確認する。

権利範囲に入っていなければ、原則的にリスクは無いと考えてよい^{*1}。権利範囲に入っていれば、自分の発明の実施が権利侵害になると判断できる。この場合には、設計変更、ライセンス交渉、無効審判請求、事業中止などの方策を採る必要があるため、知的財産部に相談を行う。

上記では、審査の経過情報を調べた結果、特許が付与されていた場合について説明した。まだ、審査中であり、審査結果が出ていない場合もある。たとえば、下図のように、「査定種別(査定無し)」と表示されている場合には、審査が終了していないことになる。

図 3-23

*1 ただし、分割出願がなされて、異なる内容の権利が取得されている場合があるので、完全にリスクがないとは言えない。J-PlatPat の経過情報では、分割出願が出されたかどうかは記載されない。よって、これを調べるためには、PATOLISなどのデータベースを使用する必要がある。



ヘルプデスク (9:00-21:00)
03-6666-8801
helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp

English トップページ ヘルプ一覧 サイトマップ JPO INPIT
独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

特許・実用新案 意匠 商標 審判 経過情報

↑ トップページ > 経過情報 > 番号照会

番号照会 ← 前画面へ戻る ? ヘルプ 入力画面 → 結果一覧 → 詳細表示

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

選択された文献 前の文献 1/1 次の文献

特許出願2010-160670 審査書類情報

基本項目 出願情報

出願記事 : 特許 2010-160670 (平22.7.15) 出願種別(通常)
公開記事 : 2012-020514 (平24.2.2)
発明の名称 : 射出成形方法、及び射出成形型
出願人 : 日産自動車株式会社 <NISSAN MOTOR CO.,LTD.>
発明・考案・創作者 : 佐貴 祥吾、石井 郁、早川 和孝、▲柳▼下 肇
公開・公表IPC : 国際分類
B29C 45/37 (2006.01)
出願細目記事 : 査定種別(査定無し)

この場合には、公開公報の請求項のままの特許されれば、特許権侵害となるので将来的なリスクがあることになる。設計変更、情報提供、ライセンス交渉、事業中止などの方策を採った方が好ましいので、やはり、知的財産部に相談すべきである。

また、審査の経過情報を調べた結果、下図に示すように出願が拒絶されていた場合には、リスクはないと考えてよいであろう。

図 3-24



ヘルプデスク (9:00-21:00)
03-6666-8801
helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp

English トップページ ヘルプ一覧 サイトマップ JPO INPIT
独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

特許・実用新案 意匠 商標 審判 経過情報

↑ トップページ > 経過情報 > 番号照会

番号照会 ← 前画面へ戻る ? ヘルプ 入力画面 → 結果一覧 → 詳細表示

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

選択された文献 前の文献 1/1 次の文献

特許出願07-113614 審査書類情報

基本項目 出願情報

出願記事 : 特許 07-113614 (平7.4.14) 出願種別(通常)
公開記事 : 平08-287056 (平8.11.1)
発明の名称 : かな漢字変換方式
出願人 : 日本電気株式会社 <NEC CORPORATION>
発明・考案・創作者 : 黒岩 謙一
公開・公表IPC : 国際分類 第6版
G06F 17/22
国際分類 第4版
G06F 15/20 524 A
出願細目記事 : 査定種別(拒絶査定)

なお、下図に示すように、拒絶査定が出されていても、出願人が不服を申し立てて審判を請求している場合もある。このような場合には、審査結果は確定していないので、審判の結果待ちとなる。

図 3-25

選択された文献 ◀ 前の文献 1/1 次の文献 ▶

特許出願2010-174885 📄 審査書類情報

基本項目 | 出願情報 | 審判情報

出願記事 : 特許 2010-174885 (平22.8.3) 出願種別(通常)
 国内優先権記事 : 特許 2010-053843 主張日(平22.3.10)
 公開記事 : 2011-206757 (平23.10.20)
 発明の名称 : アルミニウム、マグネシウムおよびマンガンを含む排水の排水処理方法
 出願人 : 住友金属鉱山株式会社 <SUMITOMO METAL MINING CO.,LTD.>
 発明・考案・創作者 : 小林 宙、檜垣 達也、庄司 浩史、土岐 典久、工藤 敬司、三ツ井 宏之、中井 修
 公開・公表IPC : 国際分類

C02F	1/84	(2006.01)
C22B	23/00	(2006.01)
C22B	3/04	(2006.01)
C22B	3/44	(2006.01)
C02F	1/58	(2006.01)
C02F	1/72	(2006.01)
C02F	11/00	(2006.01)
C22B	47/00	(2006.01)
C22B	26/22	(2006.01)
C22B	21/00	(2006.01)
C22B	7/00	(2006.01)

出願細目記事 : 査定種別(拒絶査定)
 審判記事登録記録 : 査定不服審判 2014-009182 請求日(平26.5.19) 審判(判定含む)

また、下図に示すように、出願審査請求が期限内に提出されず、特許出願が取り下げたものとみなされている場合には、もはや権利化される可能性はないので、リスクはないと考えてよい。

図 3-26

ヘルプデスク (9:00-21:00) English トップページ ヘルプ一覧 サイトマップ JPO INPIT
 03-6666-8801
 helpdesk@j-platepat.inpiti.go.jp

独立行政法人 工業所有権情報・研修館
 National Center for Industrial Property
 Information and Training

特許・実用新案 意匠 商標 審判 経過情報

↑ トップページ > 経過情報 > 番号照会

番号照会 ◀ 前画面へ戻る ? ヘルプ 入力画面 → 結果一覧 → 詳細表示

四法別の文献番号から経過情報を照会できます。

選択された文献 ◀ 前の文献 1/1 次の文献 ▶

特許出願2008-165685 📄 審査書類情報

基本項目 | 出願情報

出願記事 : 特許 2008-165685 (平20.6.25) 出願種別(通常)
 公開記事 : 2010-009183 (平22.1.14)
 発明の名称 : データ移送システム、情報処理端末、データ移送方法、およびプログラム
 出願人 : 日本電気株式会社 <NEC CORPORATION>
 発明・考案・創作者 : 竹内 崇
 公開・公表IPC : 国際分類

G06F	13/00	(2006.01)
------	-------	-----------

出願細目記事 : 査定種別(査定無し) 最終処分(未審査請求によるみなし取下) 最終処分日(平23.9.27)

[↑ このページのトップへ](#)

最後にもう一度、他社特許を侵害しないかどうかの判断の流れを示しておく。

図 3-27

